

国・県補助金の不適切な経理状況について

(円)

		用途が決められている事務費を業務関連性が薄い事務費へ流用	本来の品目と別の事務用品を購入	業者の口座に先に入金し、次年度以降に事務用品を購入	
建設部	H15	109,240	83,580	4,034,573	部合計 18,764,861
	H16	63,260	146,693	3,934,417	
	H17	45,340	127,480	3,487,279	
	H18	89,740	555,313	2,571,630	
	H19	112,105	596,103	2,808,108	
	計	419,685	1,509,169	16,836,007	
都市整備部	H15	1,372,942	146,089	779,526	部合計 8,127,881
	H16	680,347	11,130	397,375	
	H17	821,036	109,825	525,724	
	H18	924,865	43,512	384,733	
	H19	776,602	88,109	1,066,066	
	計	4,575,792	398,665	3,153,424	
下水道部	H15	503,227		222,960	部合計 2,142,070
	H16				
	H17			319,932	
	H18	18,670		84,596	
	H19			992,685	
	計	521,897		1,620,173	
教育委員会	H15			183,765	部合計 1,928,634
	H16			3,815	
	H17			266,729	
	H18		477,435	567,068	
	H19		231,798	198,024	
	計		709,233	1,219,401	
合計		5,517,374	2,617,067	22,829,005	30,963,446

10月20～23日までの調査での回答(30,509,137円)に、調査中となっていた教育委員会の平成15～17年度の数値が判明したことから、454,309円を加えている。

用途が決められている事務費を業務関連性が薄い事務費へ流用した例
補助事業に係る旅費として支出したが、補助事業と関連の薄い用務であった事例。(研修等)
質疑応答集や追録等直接補助事業に関連性の薄い書籍を購入

本来の品目と別の事務用品を購入した例
消耗品でパソコン等備品を購入
備品図書を分冊し消耗品として購入

業者の口座に先に入金し、次年度以降に事務用品を購入した例
年度末に消耗品費(トナーカートリッジ等)購入したこととし、翌年度に事務用消耗品(その他複数品目)の納入をした事例。